

































月日	月 日	月 日	月 日	月 日	
経過	手術2日前(入院日)	手術前日	当日(術前)	当日(術後)	術後1日目
目標	○心身ともに安定した状態で手術を受けられる ○治療に対する不安を表出できる			○術後合併症を起こさない(出血、深部静脈血栓症、肺炎、縫合不全、感染、腸閉塞) ○合併症予防のためのリハビリ(歩行訓練、呼吸訓練)が行える	
検査	身長、体重測定	 採血			 採血
食事	※朝食は軽食とし、ご自宅で昼より流動食	 昼から絶食(水、茶、スポーツドリンク可) 21時以後絶飲食 経口補水液は、麻酔科の指示で服用	 絶食(水分は医師の指示で再開)	 朝より水分制限なし	
	※    				
処置・観察	リストバンドを装着します(退院日まで)	弾性ストッキングのサイズを測定しお渡します	 朝浣腸します  時間になれば看護師が手術室にご案内します	手術後以下の挿入物、装着物があります ・酸素マスク → 取り外します ・心電図モニター → 取り外します ・点滴の管 → ・背中のチューブ(鎮痛剤) → ・創部の管(ドレーン) → ・尿道カテーテル → ・フットポンプ(血栓予防) → 取り外します  創部の観察、処置を行います	
	 状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります				
注射・内服	 持参薬、お薬手帳を看護師にお渡しください  夕 下剤を服用します	 以下を服用します ・昼 250ml の下剤 ・夕 抗菌薬 ・眠前 下剤、抗菌薬		 腸蠕動促進薬を服用します  夜 血栓予防薬を皮下注射します	
			 以下を点滴します ・持続点滴 ・抗菌薬 ・鎮痛剤		
行動・リハビリ		 シャワー浴、洗髪をします 	 以下の手術準備をします ・手術着に着替え ・弾性ストッキング装着 ・入れ歯、アクセサリー、時計等の取り外し	 午前中全身清拭し、手術着からパジャマに着替えます	
	 制限ありません  リハビリ科の診察があります		 翌朝までベッド上安静です	 付き添いのもと、リハビリを開始します	
説明	 医師・麻酔科医より(外来又は入院時) ・治療計画について ・手術について ・麻酔について  病棟・手術室看護師より ・入院生活について(パスシートを使用) ・手術について  薬剤師より ・持参薬確認 ・使用薬剤について		 医師より説明 ・手術の結果について  看護師より説明 ・術後の注意点について ・安静について ・痛み止めの使用方法について		

* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください

* 入院に関して心配事がありましたらお申し出ください。

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

月日	月 日	月 日	月 日～ 月 日	月 日～ 月 日
経過	術後2日目	術後3日目	術後4～5日目	術後6～8日目(退院日)
目標	○術後合併症を起こさない(出血、深部静脈血栓症、肺炎、縫合不全、感染、腸閉塞) ○合併症予防のためリハビリ(歩行訓練、呼吸訓練)が行える			○排便コントロールが図れる ○退院後の日常生活の注意点が述べられる
検査				
食事	水分制限なし	朝より流動食開始	4日目 朝より全粥食 5日目 朝より常食	退院日は朝食のみ
処置・観察	以下の挿入物があります ・点滴の管 → 点滴が不要となれば取り外します ・背中のチューブ(鎮痛剤) → 術後2～3日で取り外します ・創部の管 → 状況を見て術後3～7日で取り外します ・尿の管 → 術後2～3日で取り外します (抜去後、超音波を使用し残尿測定することがあります)			退院時にリストバンドを外します
	創部を観察、処置を行います →			
	<div style="border: 1px solid pink; padding: 5px; text-align: center;"> 状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります </div>			
注射・内服	以下を服用します ・腸蠕動促進薬 ・鎮痛剤			退院処方があります
	夜 血栓予防薬を皮下注射します	朝、夜 血栓予防薬を皮下注射します		
	以下の点滴を行います ・朝、夕点滴 → 徐々に点滴量が減ります ・鎮痛剤			
行動・リハビリ	状況に合わせて、看護師が全身清拭、洗髪、足浴します 尿道カテーテル抜去後はトイレで排尿できます			創部の治癒状況に合わせてシャワー浴を再開します (週3回、病棟毎日が異なります)
	付き添いのもと、リハビリを継続します (安静度やリハビリの進行には個人差があります)			(退院日) 朝食後退院です
説明			医師より ・退院後の療養計画、療養上の留意点について 看護師より ・退院後の療養生活について (退院療養計画書をお渡しします) 栄養士より ・退院後の食事について 療法士より ・退院に向けて	

